

- 1** 【解き方】 問一. 盗人が家へ入ってきたので、博雅三位は「板敷のした」へ逃げかくれたということ。  
問二. 盗人が帰ったので、家の主がかくれていた板敷の下から出てきて様子を確認している。  
問三. ③ 終止形は「なし」で、語尾が「し」になる活用語。④ 終止形は「吹く」で、語尾がウ段になり、動作を表す活用語。  
問四. 「三位とりて吹かれたりける」音を聞いて、盗人が戻ってきて「ただ今の…」と話していることに着目する。  
問五. ひちりきの音を聞いた盗人は「あはれにたふとく候ひて、悪みなあらたまりぬ」と言って、盗んだものをすべて返したことから考える。  
問六. 語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」を「わ・い・う・え・お」にする。  
問七. ひちりきの音色にしみじみと心をうたれ、「悪みなあらたまりぬ」とあるのをふまえる。「優なり」は、優しい、優雅などの意味。  
問八. 博雅三位のひちりきの音を聞いた盗人が戻ってきて、「悪みなあらたまりぬ…ことごとく返したてまつるべし」と言っていることをおさえる。
- 【答】 問一. (イ) 問二. 博雅(三位)(または、三位) 問三. ③ (オ) ④ (エ) 問四. 御ひちりきの音 問五. (ウ) 問六. ⑦ いう ⑧ うけたまわる 問七. (エ) 問八. (イ)